

よこすか地域支え合い協議会 構成団体・組織紹介

No.	貴団体名	貴団体・組織が行っている支え合いに関連する取り組み (他の構成団体・組織に知ってほしい取り組みなど)	他の構成団体・組織に協力できること (貴団体でできること)	他の構成団体・組織と連携したい又は協力を得たいこと (貴団体で取り組みたいこと)
1	(福)横須賀市社会福祉協議会	社会福祉協議会は、住民主体の理念に基づいて地域の福祉課題に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現を目指し、住民の福祉活動の組織化、社会福祉を目的とする事業の企画・実施及び連絡調整などを行う公共性と自主性を有する民間組織。(社会福祉法に地域福祉の推進を図る団体と定められている。)地域福祉活動計画を策定し、行政が策定する地域福祉計画と連携し地域における活動(支え合いに関する活動も含む)を進めている。	地域において地域福祉活動を推進している地区社会福祉協議会、民生委員児童委員と、共に支え合いの活動を推進していくためのパイプ役となることができ、連携を進められる。 また、全戸配布している「社協だより よこすか」の活用	各団体等との情報共有を図り、お互いのできる事や役割を確認・理解をして、地域への情報発信を行っていきたい。
2	横須賀地区高齢者福祉施設連絡会	①高齢者福祉シンポジウムの開催 ②認知症身元不明高齢者の保護協力 ③災害時三次福祉避難所としての機能 ④人材育成のための施設間連携 ⑤かながわライフサポート事業への参入 ⑥障害、児童、保育事業所との相互理解・連携(市社協施設部会への参加含む)	①社会福祉法人の理解促進 ②介護予防のための知識の普及啓発や介護技術の伝達 ③防災訓練、災害用備蓄食料の試食会 ④介護職員初任者研修、介護助手導入促進事業(神奈川県高齢者福祉施設協議会として) ⑤未使用時の事業所設備の開放	①地域貢献活動を模索する機会の確保 ②地域において人材を確保するための意見交換の機会(雇用創出の機会・資格経験の有無・教育現場における理解促進)
3	横須賀市立市民活動サポートセンター(指定管理者NPO法人YMCAコミュニティサポート)	①よこすか子育て応援ネットワークの事務局として、子育て支援の活動をしている団体の交流、情報交換、学び合いを支援している。 ②横須賀三浦子ども食堂・地域食堂ネットワークの事務局として、子ども食堂、地域食堂相互の情報交換や食材の融通を支援したり、行政との連携を支援している。 ③当センターに登録のある支え合い組織の活動に関する相談や備品貸し出しなどの協力をしている。 ④毎年2月に開催している「のたるんフェア」では、100を超える団体の活動紹介を行っており、市民への活動PR、異分野の団体の交流や情報交換に役立っている。	①活動紹介コーナー(パネルを使った展示が2週間できます)や掲示板、チラシラックでの活動のPR。 ②登録団体が700団体近くあるので、つながりたい団体を紹介することができます。	当センターに登録のない団体や施設の活動状況を知りたいです。支え合い団体もごく一部しか登録がないので、紹介していただき、登録を進めることで、子育て応援ネットワークのような情報交換の機会が作れると思います。また、異分野間の交流で思わぬ活動の促進が生まれたりするので、市内で活動している団体の情報をお寄せいただけるとありがたいです。
4	横須賀市居宅介護支援事業所連絡協議会	毎年、包括も交えて地域包括連携集會を各ブロックごとに開催し、地域の民生委員さんや医師、各サービス事業所と地域づくりについて話し合っている。 地域包括が開催する地域ケア会議に参加し、地域の方々と課題について話し合っている。	何か地域に向けての催しを開催する時の手伝い。	自分たちの団体だけでなく、横須賀市内の団体の方々と話し合い、横須賀独自のものを作り出す手伝い、協力はできる。
5	横須賀市訪問介護事業所連絡協議会	地域資源の活用視点を持った支援を行えるよう研修等を実施、関係各所と連携し担う役割や働きかけを共有している。	以前は御依頼を頂き、行政センターで介護技術や介護の基礎知識を各地域の皆様に出前授業といった形式で開催させて頂いたり、地域のサロンでも認知症の方が在宅生活を継続できるように訪問介護事業所としての働きかけなどをお話しさせて頂いて居ります。	SNS等も活用しながら情報共有や他構成団体の地域との関わり方等、定期的に学習することにより介護サービス以外の啓発に繋げたい。
6	横須賀市通所事業所連絡協議会	通所事業所は介護保険事業所という側面だけでなく、地域にとっても社会資源になりえる可能性をもっており、その理念に基づいた運営をしているところも市内には複数存在しています。	事業所という実態のある「場」があるため、営業中及び営業をしていない時間帯に「活動できる場の提供」という形で活用が期待できます。また専門職を配置している事業所では、より専門的な活動展開も可能と思われます。(ただし、事業所個々の事情や、介護保険制度上での緩和が必要という条件は付きませんが…)	活動の場の提供から始まって、本来の「地域密着」が可能になるような、介護保険制度運用の緩和を推進することが、介護保険事業所だけでなく、このような市民活動団体の皆さんと行えると心強いと思っております。

No.	貴団体名	貴団体・組織が行っている支え合いに関連する取り組み (他の構成団体・組織に知ってほしい取り組みなど)	他の構成団体・組織に協力できること (貴団体でできること)	他の構成団体・組織と連携したい又は協力を得たいこと (貴団体で取り組みたいこと)
7	横須賀市シルバー人材センター	当センターは、就労を希望される会員の方に公共、民間企業、一般家庭等からの求人を紹介し双方を、つなげていくことが主な活動です。その他にも会員の生きがいをづくりを目的とした活動や社会貢献などの取組もしています。	元気な高齢者が多くいる団体ですので、虚弱な高齢者や子育て中のご家庭などの力になれると思っています。また、人手不足や働き方改革に取り組む地元企業への下支えも可能かと考えています。	現在、当シルバーの拠点は福祉会館のみです。11の地域班に分かれているので、拠点を少しでも多くすることで、その地域にあった支え合いの仕組みのお手伝いができるのではないかと思います。
8	横須賀市連合町内会	クリーン、防犯防災、福祉等、町内会自治会活動の全般が支え合いにつながっている。連合町内会長として、各地区社協や民生委員とも関わりが深い。	①町内での話し合いの場への参加協力 ②町内会長への情報共有、協力依頼 ③町内会長を対象にした研修会	単位町内会長の支え合いへの理解を広げていきたいため、民生委員や地域包括支援センター、介護事業所が感じている、地域の課題を提示してもらい一緒に考える場を持ちたい
9	横須賀市老人クラブ連合会 (はまゆうクラブよこすか)	①高齢者の健康増進、寿命延伸活動 (各種運動のクラブ活動、健康体操講座) ②高齢者の文化教養の増進、認知症予防活動 (講演・勉強会、展示会、文化教養クラブ活動) ③社会奉仕活動 (清掃・緑化活動、地域の防犯、交通安全など地域の日常活動) ④友愛チーム (地域支えあい活動) 増加活動 (事例発表会、チーム編成の支援)	①高齢者の健康増進、文化教養増進、認知症予防に関する事業を行うまたは関連する団体 ②地域支えあい活動の実施団体 (事例紹介) ③クリーンよこすか市民の会とは連携している	①未入会のクラブへの参加への協力 ②研修会、講演会の共同開催 ③老人クラブの事務処理能力向上 (通信手段のインフラの整備、活用を含む) ④地域移動インフラの整備活用 (高齢者の買い物支援、移動支援) 例: コンソーシアム事業化
10	いわともしびチーム	①訪問支援 (庭木の手入れ・ゴミ捨て・受診付添・買い物・家事支援等) ②手芸の部屋 (一人暮らし高齢者対象) 月1~2回 年1~2回作品発表 ③ペンギン広場 (親子サロン; 乳幼児対象) 月1回 ④こどもサロン (小学生。幼児は保護者同伴) 月1回 ⑤高齢者茶話会 (R2年度未実施) 月1回 ⑥高齢者交流会 (R2年度未実施) 年2回 うち1回は日帰りバス旅行 ⑦広報 年1~2回 ⑧地域公開講座 年1回 (R2年度未実施)	①会員の声: 運動などの講師として協力できる。(少しでも手を動かしてみたい、声を出して伝えたい、無理なく体を使って楽しみたい等、自分から興味を示してもらえそうな活動がしてみたいので、何か情報があれば嬉しいです。) ②現状では他地域 他団体への協力は難しいと思うが、協力要請があればチームで話し合い、前向きに検討したい。 ③市内外の他団体 他地域との情報交換や情報収集等、前向きに学ぶ姿勢は大切である。 ④チーム員も高齢化が進んでいるので、次世代の会員を募りどう繋げるか課題。	①活動に関してのアドバイス、アイデア、方向性を教えていただきたいと思っています。 ②こどもサロンに対して図書館や読み聞かせサークルの協力があると嬉しい。 ③高齢者の事業を実施しているところがあればどのように工夫しているのか教えてほしい。(コロナの問題で高齢者対象の茶話会や交流会等の行事を休止している。一日も早く安心安全にみんなが集える社会になって欲しい。休止が長い引いているので、今後どうしたら良いか模索している。)
11	横須賀市民生委員児童委員協議会	民生委員児童委員は、法律により厚生労働大臣から委嘱された無報酬のボランティアで、100年を超える活動の歴史を持ち、常に住民の立場に立って、寄り添い、必要な支援が受けられるよう住民と行政や専門機関・団体等とのつなぎ役として活動を行っている。横須賀市民生委員児童委員協議会は市内のすべての民生委員児童委員が会員となり、日々の活動に必要な研修や情報提供などを行っている。また、市内には法定の18地区民生委員児童委員協議会があり、各地域ごとに専門機関や団体等との連携を図っている。	地域住民の見守りの中で発見した住民の抱える悩みや地域の課題の解決のため、行政に働きかけ、専門機関を紹介したり、必要なサービスの紹介や連絡をする役割を果たせる。地域住民を見守り、支えるネットワークづくりの一員として協力できる。	民生委員児童委員は、担当する地域に暮らす住民の身近な相談相手であり、必要な支援へのつなぎ役であり、地域住民の医療や介護、子育て、その他生活上の悩みや不安などの相談に応じているので、必要に応じた情報の提供や連携をした対応ができるよう協力をお願いしたい。
12	横須賀市地域包括支援センター連絡会	現在、横須賀市に12の地域包括支援センターがあり、6地域包括支援センターに生活支援コーディネーターがいます。第二層地域支え合い協議会と連携し、また事務局として活動しています。各地域包括支援センターでは、地域の医療・福祉・生活支援のための関係団体の方々、地域の様々な課題について話し合いを行っています。	第二層地域支え合い協議会で話された課題や取り組みの内容について、協議会に参加している立場として、補足説明や発言ができるのではと考えています。	各構成団体の皆さんと第二層支え合い協議会で話された課題や取り組みなどについて具体的な対応策やアイデアなどを考え、第二層支え合い協議会の活動のサポートができればと考えています。また、課題等に関して、必要な場合は当連絡会へ持ち帰り検討させていただきます。
13	公益財団法人横須賀市生涯学習財団	当財団の目的は「市民の文化活動及び生涯学習活動の振興を図ることにより、市民一人ひとりの自己実現を支援し、もって市民生活の向上と新しい横須賀文化の創造に寄与する」ことです。 具体的には、以下の取組を行っています。 ・市民団体の文化、学習活動の支援 ・生きがいをづくりとなる学習機会の提供 ・サークルや講師等の情報提供	①各種団体のイベント等の広報 ・まなびかんニュースへのイベントや会員募集記事の掲載 ②まなびのための各種サークル、講師に関する情報提供 ・Yokosukaまなび情報 ③講師活動支援のための講座機会提供 ・ABCプラン (講師活動支援講座) ・スキルアップ講座 (講師・サークル活動活性化支援のためのスキルアップ)	①まなびかんの各種講座の広報 ・生きがいをづくりにつながる市民大学はじめ各種講座のご案内をさせていただければありがたいと存じます。 ②登録講師の活用 ・各種団体等の事業で登録講師をご活用ください。